

## ★第47回MBC賞を受賞 ～農事組合法人 どんどんファーム古殿～



10月10日に城山観光ホテルにおいて、第47回MBC賞表彰式が開催され、集落営農組織として活動している農事組合法人どんどんファーム古殿（川辺町古殿）が受賞しました。

（農）どんどんファーム古殿は、高齢化による担い手不足などで地方の農業が疲弊していく中、「集落の農地と農業は自分たちで守ろう」という気運が高まり、平成17年4月1日に設立され、住民参加の農業経営を展開しています。これまで、耕作放棄地ゼロを達成し、農業と地方の再生という鹿児島ならではのテーマに地域ぐるみで取り組んできたことが、持続可能な農村づくりのモデルケースとして高く評価されました。

受賞した同法人の中間幸敏代表理事は、「耕作放棄地を出さない。そして、集落が明るく元気に生き生きしてくれればありがたい。そういうつもりで頑張っています」と話しました。



▲MBC 中村耕治代表取締役社長（左）から（農）どんどんファーム古殿中間幸敏代表理事（右）へ賞状が送られました。



▲表彰式には霜出市長ほか関係機関も出席し、（農）どんどんファーム古殿の皆さんを祝福しました。

「MBC賞」  
南日本放送(MBC)が産業・社会・文化・芸術・スポーツなどの各分野でふるさと鹿児島への発展に貢献し、かつ将来を期待される個人や団体を支援するために、昭和43年に「MBC賞」を創設し、これまでに87団体と個人49人を表彰しています。

## ★ゴールに向かって一直線！ ～第13回アグリランドえいポニーレース～

10月19日、夢・風の里アグリランドえいで、アグリランドえいポニーレースが開催され、市内外から25頭のポニーが集まり、熱戦が繰り広げられました。小柄ながらも懸命に走るポニーの走りや、真剣な眼差しでポニーを巧みに操る騎手の姿に、観客から歓喜の声が上がっていました。その他にも会場内では、しゃんしゃん馬の披露や出店、ステージショー、ポニーの無料乗馬体験など、多くの催しで賑わいました。

▼オープニングの武者行列と灯ろう流し踊り。南九州市高校生クラブ員が鎧をまとい見守る中、各地域の女性陣が知覧節を披露しました。



▲秋晴れの爽快な青空の下、ポニーが草原を駆け抜けました。

## ★第21回小京都ふるさと祭 ～ふるさと自慢・味自慢～

10月26日、知覧平和公園自由広場で第21回小京都ふるさと祭が行われました。多くの出店が集まったふるさと自慢市（バザー）や保育園児たちによる元気いっぱいの和太鼓や女性連などの踊りが披露されたステージショーに、たくさんのお客が集まり会場全体は賑わっていました。残念ながら雷や雨がひどくなったため、午後の歌謡ショーの途中で祭は中止となってしまいました。

## 牛乳に愛着をもってほしくて ～南九州市酪農振興会～

10月28日、薩南工業高校で市内農家の方から生徒へ「南九州市の酪農について」講話がありました。これは、南九州市酪農振興会が主体となり、若年層への牛乳消費拡大を図ったものです。講話をされた内匠秋夫振興会長は「生徒の話を聞くと、意外と牛乳を飲んでいて、売店にもっと牛乳を置いてほしいという生徒もいた」と嬉しそうに話しました。



▲講話の後は、中学校の給食を思い出しながら皆で牛乳をおいしく飲みました。教頭先生は「牛乳は体にもよく、学校にとってもありがたい」と話しました。

▼11月24日から颯娃のゆとり館、指宿市山川のいお海道で販売されます。今回受賞した茶寿会の山下浩福さん（左）と協和会の岡泰雅さん（右）。



## 茶寿会・協和会『SUB SOUP 茶節』 ～かごしまの新特産品コンクールで快挙！～

10月16日、颯娃町のお茶農家でつくる茶寿会と指宿市山川の鯉節生産業者でつくる協和会とで商品化した「SUB SOUP 茶節」が第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会会長賞を受賞。茶寿会の山下浩福会長は「多くの方々のおかげで受賞できました。鯉節、味噌、お茶を使ったこの茶節が、世界に和食をPRする一役を担えれば」と話しました。

▼手を取り合う、左から霜出助平 市長、九州浪華合成（株）の森谷浩二 社長、鹿児島県商工労働水産部の牟田神圭介 次長。



## 九州浪華合成(株)と立地協定 ～南九州市に新工場を～

10月21日、市役所で九州浪華合成(株)との立地協定式が行われました。同社は、熱に強く硬度なプラスチック成形品の製造・販売を手掛ける浪華合成(株)（大阪市）が九州で事業を行うために設立した会社で、知覧町永里の空き工場を活用し平成27年4月からの操業を計画しています。森谷浩二社長は「生産品の多いものや大きな製品の製造を予定しており、順次、規模拡大を図っていききたい」と話しました。

## 交通安全功労者等表彰 受賞 ～長年にわたる功績をたたえ～

九州管区警察局長および九州交通安全協会会長連名表彰による伝達式が10月9日に行われ、優良運転の功績に対し大藪良一さんと中村瑞男さんが、交通安全活動の功績に対し飯草健太郎さんが受賞され、坂元南九州警察署長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡されました。大藪さんは「現在もいろいろな事に生きがいを持って生活しており、交通規則を守ることが無事故、無違反につながっている」と話しました。



▲左から、松久保交通安全協会会長、中村瑞男さん（川辺町今田）、飯草健太郎さん（川辺町宮）、大藪良一さん（川辺町田部田）。

## 竹屋神社の豊祭（ほぜ） ～下山田西豊年太鼓踊り～

10月19日、川辺町中山田にある竹屋神社にて、下山田西豊年太鼓踊りが奉納されました。これは農作物の豊作を祈り、毎年、勝目・大丸校区にある4つの区が交替で行います。当日は、7時30分から竹屋神社で奉納した後、夜10時過ぎまで勝目・大丸校区の各公民館などを踊り回りました。今年は台風や雨の日が多く奉納できるか心配されましたが、無事できたことを参加した皆さんは大変喜んでいました。



▲下山田西の踊りは朝鮮出兵に従軍した山田（勝目）の武士の「帰陣」の様子を表現したと言われていて、背中に背負う刀などが刃こぼれしています。

▼今回修了された田之脇聡さん。研修中は、熱心にさまざまなことを学びました。終了後は、さつまいも・キャベツなどの栽培を予定しています。



## 農業開発研修センター 修了式 ～田之脇 聡さん（穎娃町上別府）～

市農業開発研修センター修了式が9月30日に開催され、短期研修生の田之脇聡さんが修了し、「1年間の研修でしたが、いろいろな作物の栽培管理や病害虫診断などの観察力も身につきました。今後は研修で学んだことを活かしていきたい」と抱負を述べました。励ましのことばでは、霜出市長をはじめ関係機関から激励と期待の言葉が贈られました。

▼真剣な表情でボールを打つ有村さん。とても101歳とは思えないほどの身のこなしでプレーしていました。



## 百一歳になっても元気にゲートボール ～有村 エキさん（高田中福良自治会）～

今年で101歳を迎えた有村さんの趣味はゲートボールで、週に3回通っています。70歳を過ぎてから始められ、試合では競技のほかに採点も務めるなど、今でも元気に活躍しています。有村さんは「ゲートボールを通じて、みんなと仲良く話せることが一番の楽しみ。これからも続けていきたい」と笑顔で話しました。

## 百歳おめでとうございます ～宮脇 テルさん（穎娃町御領）～

宮脇テルさんが、9月13日に100歳の誕生日を迎えられました。兄弟が戦争に出征したため、30歳の時に帰郷され、助産師として多くの妊娠・出産にかかわってこられました。『出来ることは自分でやる』がモットーで、現在は、自家野菜を作り近所にお配りすることと、週3日のデイサービスを楽しみにされているとのこと。



▲霜出市長が自宅を訪問し、ご家族と一緒に長寿をお祝いしました。